

## 神奈川県作業療法士会ニュース170号 目次

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 巻頭言                   | 6 各部からの報告                  |
| 2 先人たちに聞く、作業療法の今までとこれから | 8 研修会案内                    |
| 4 理事会報告                 | 9 求人案内                     |
| 5 研修会報告                 | 12 WFOTの裏側で…座長記念品と作業所OTの紹介 |

## 巻頭言

### OTフロンティアスピリット

第15回神奈川県作業療法学会 学会長  
 横浜リハビリテーション専門学校 水島眞由美



今回の特別講演には「作業療法の原点と将来への期待」というテーマにぴったりのお二人の講師を予定しています。お一人目は、日本作業療法士協会の第二代会長職を長きにわたり務められた矢谷令子先生、お二人目は神奈川県作業療法士協会の会長職を長きにわたり務められた長谷川元先生です。お二人は、日本の作業療法を牽引し、また、生涯現役として活躍されている大先輩の作業療法士です。

1965年日本に理学療法士及び作業療法士法が施行され、はや半世紀を迎える今、お二人にとっての作業療法はどのようなものだったのでしょうか。先人たちの軌跡を知る、歴史を知ることにはこれからの自分自身の生き方や作業療法にとってのヒントにつながるのではないかと思います。

日本のリハビリテーションに作業療法士という職能団体が生まれた当初は、作業療法とは何か、作業療法士は何をする職種なのかを自問自答し、啓蒙し、試行錯誤する時代であったかと思われます。途中で作業療法の効果判定や科学的検証が必要な時期もあり、作業療法が理学療法とすり替えられて、リハビリテーション職種を一元化する構想も取りざたされた危機もありました。

こうした中、半世紀がたち、作業療法の認知度も徐々に上がり、現在では求人倍率も高い位置にあるのは、先人の作業療法士の功績ではないでしょうか。

矢谷先生は、専門学校・大学教育における作業療法士教育の枠組みを作られ、ひとつひとつの言葉が明確で重みのあるものです。輸入の作業療法士の

本や訳本はあっても、日本の作業療法士の手による作業療法士教育に必要な教科書作りに貢献された立役者です。作業療法を勉強した学生やOTRで「矢谷令子」という名をだれもが目にすることがあるのではと思います。また、作業療法士の法人化への手続きにも貢献されました。対談の中でも、「PTとOTは車の両輪のようなもの」「作業療法を行う作業療法士になってもらいたい」と矢谷節的メッセージが送られています。

長谷川先生は、ダブルライセンスの持ち主です。時代の流れや人とのつながりから、また発達障害の子供たちのかかわりから理学療法士の資格を取得後、作業療法士の資格をとり作業療法士として活躍されました。今では、発達領域でのニーズが多い特別支援教育の先駆けとして、神奈川県や川崎市の養護学校を中心とした作業療法士としてのアドバイスを多職種の中で実践し、その臨床の中から発達障害領域での作業療法士の役割を明確化されました。また、日本作業療法士協会の副会長や神奈川県作業療法士の会長も歴任し、組織化や認知度に貢献されました。

お二人の作業療法の軌跡をお聞きすることは、日本の作業療法の歴史を訪ねることにもつながるかと思います。また、皆様方が置かれている課題、単なる自己満足で終わらすのではなく、これから先の将来を見据え、子供や孫の時代までも作業療法を継承していくためのヒントが得られるのではないかと思います。

## 第15回神奈川県作業療法学会プレ企画 学会長対談

## 「先人たちに聞く、作業療法の今までとこれから」

今回、来年の神奈川県OT学会のプレ企画として学会長対談を企画いたしました。対談相手は特別講演でご講演をいただきます矢谷令子先生と長谷川元先生です。先人たちが語る作業療法の今までとこれからとはどんな内容なのか？ 特別講演に繋がる内容です。先人たちからのメッセージをお読みください。

## 1. 未曾有の中の確信

**学会長：**日本や神奈川県を牽引されてきた先生方にお話を伺いたいと思います。長い期間作業療法士として、今でも現役としてご活躍されている先生方の今までを振り返ってみて良かった事や、楽しかった、苦労した事をお話ししていただけたらと思います。

**長谷川：**私の記憶では清瀬に学校ができたのが昭和38年、理学療法士および作業療法士法ができたのは昭和40年、その当時リハビリテーションは花形だった。だけど医療の専門家に聞くと、PTは比較的知名度が高いが、OTはというと全然知られていない。私がたまたま勤めていたのが関東労災病院。その時に、整形外科の部長が、「なんでそんな法律を作ったんだ。米国がPT・OTがあるからって日本もマネをして二つも作る必要はない。」と言われた事を覚えている。こちらは意地を張って、「あくまでも違う職種である。これから何十年も経って振り返ってみて欲しい。それぞれの個性を持った職能団体、あるいは職業として成り立っていくはずだろう。」という話をしたのを覚えています。

**学会長：**日本を動かされていた矢谷先生としてはどうでしょうか？

**矢谷：**社会的に苦労したと云うのではなく、まだ黎明期で戦う相手も何もないから。こつこつと一生懸命やってきたというところがありますね。長谷川先生はどうやってOTをお知りになられたのですか？

**長谷川：**九州労災病院に服部先生がいらっちゃって、リハビリテーションの重要性を唱えていら

っしやった。最初は九州労災がリハビリテーションのモデルだった。和才先生、細川先生というPTが九州労災病院にいらして、服部先生と一緒に東大に来てリハビリの紹介をしていたのを覚えている。

## 2. 日本人に依る日本語のOTの教科書

**学会長：**矢谷先生は教科書に関わっていたとの事ですが？

**矢谷：**そう、日本人が日本人向けのOTの教科書を作ろうっていう話があったのですけれど、当初はまだその力量が無かったんです。で、協同医書出版社の前社長さんが、熱心な方で、医学よりも作業療法の教科書を作りたいってね、売れない作業療法の本をいっぱい倉庫に抱えて、それでも次の教科書を作るって…本当に一生懸命やって下さった。でも、出来上がる前に亡くなられて…。私はその最初の教科書を持って墓前に報告したんです。

**学会長：**OTの本の商売としてはまだ売れないものじゃないですか？

**長谷川：**ありがたいことですよ。だってね、本を出すって大変なことですよ？しかも売れない本を(笑)。

**矢谷：**だから、私達作業療法士よりも、その社長さんが作業療法のことを考えてくださっていらしたということですよ。

**学会長：**今もシリーズで続いていますもんね。今は養成校も増えて売り上げも違うでしょうけど。

**矢谷：**教科書も増えているので、教科書を選ぶ学校の教員がしっかりしないとだめ…。

**学会長：**我々もしっかりしないと(笑)。



水島学会長  
(横浜リハビリテーション専門学校)



矢谷令子先生  
(一般財団法人日本リハビリテーション振興会 理事長)



長谷川元先生  
(特定非営利活動法人赤いふうせん 理事長)

### 3. 教員の「教育力教育」は必須課題

長谷川：学校がどんどん増えている。その中で、今は分からないけど教員不足が深刻ですよ。ね。教員になろうと思えばなれちゃう時代が続いていた。それでは妥当な教育ができるかどうか疑問ですね。そろそろそういう時代が変わらなくては行けない。

学会長：他の職能団体でもありますよね。

矢谷：OT協会が頑張ってる所ですよ。長期講習だけでなく、教員の為の教育校があっても良いと思います。学位があれば良いと云うだけじゃなくてね。

学会長：教育の立場にいて、教育者を教育するシステムってすごく重要だと思います。

矢谷：OT協会でOTの教育者のための資格の整備を進めても良いのじゃないかと思えますね。

長谷川：もうそういう時代ですよ。

矢谷：OTがOTの基本を教育課程のどこで学ぶかですよ。スプリントも自助具も作らない、患者さんのどこを支援していいかわからない。限りなくPTのまねをするOT…。PTはPTでOTに近づく。だから、ひとつの職業で良くなってしまおう。でも、リハビリテーションの根底にあるものを見ると、OTもPTも車の両輪で、一緒に働きながらも、それぞれの長所を活かして協力し、専門性を発揮するから成り立つのですよ。

学会長：はい。

矢谷：そういう考えを先生方に十分に教えてもらわないで臨床に出て、PTと同じことをして安心して、でも、かたやそれに悩むOTがいる。けれど、それをなんとかするOTがない。そういう現状ですよ。

長谷川：そうですね。学校の代表が集まって話をしないと。

学会長：今は全国リハビリテーション学校協会で行われるようになりました。でも協会もそうですけど、けん引する人が少なくなっているのでしょうか？

矢谷：大きくなってきて、統率も難しいのですが、何等かの手を打たねばと思います。

### 4. 「作業療法を行う作業療法士」が必要

学会長：これからのOTに期待することは何かありますか？

矢谷：一言で言うと、“作業療法を行う作業療法士になる”ということです。作業療法の、「作業を療法とすることができる。これが力の源なのだ。」ということを経験している人。ものを作ったりするのが嫌いという人が作業療法士になって、患者さんにこれ作って喜びを感じたり、生活に役立ててみましょうと云っても、自分が好きじゃないなら、所詮“作業”を手段としなくなるでしょう。

長谷川：その通りですよ。発達系では、直接子供・親・学校の先生に関わる。難しいとは思いますが、作業療法の中で、子供達に関わる理由が明快に見えてこない。作業療法士として明確に示せる力を全体が持ってほしい。

学会長：本当の意味での作業療法が出来るような、

私もまだ出来てない部分があるので…

矢谷：やっぱり、どうやって作業療法が発展してきたかという歴史、先人達が生活の中で色々試案し実践しながら、作業と人間がどのような関係にあるかを充分に考える…。作業療法は生活の中から生まれ、生活に人間を還していく、その強みがあるはず。後輩を引っ張っていくリーダーが必要。だから5年、10年以上のベテランの教育チャンスを作りたいですね。

学会長：はい、そうですね。

矢谷：(作業療法は)生活の中に手段があふれている。お金かけなきゃできないのではなく、生活力、人生力をつけていくものだから。そういうアイデアをふんだんに使って患者さんを引き上げ支援していけたら良いと思います。

### 5. OTが全体で考える学会を作ろう

長谷川：今度の学会では、学会長の個性を出して下さいね(笑)。

学会長：重荷ですね(笑)。

長谷川：OTが全体で考えていこうというものを作って欲しいなと思います。そのために、神奈川県の中でどういうことをすればそれが出来てくるのか。

学会長：これからもっと発展していく若い世代にとって、古きをたずね新しきを知るといった意味でも今度の学会のテーマを“原点回帰”という形をとらせて頂きました。それで先生方にも講演依頼を。

矢谷：講演なんて面白くない(一同笑)。講演じゃなくて、意見交換とか、インプットしたら皆さんでアウトプットするとかしましょよ。学会までに今の作業療法というものを客観的にみて、何が課題かを挙げてみて、作業療法士自身がどういう対策を選べるかということを考えることが良いと思います。問題提起できる作業療法士がいないといけない。その辺りでパンチの入った学会にしてください(笑)。

長谷川：神奈川県内の、新人もいればベテランもいればモノを考えないOTもいる。その中で、少しでもOTとしての役割、目標を共有できるものが作れたら良いと思います。

学会長：貴重なお話をありがとうございました。学会に向けての課題も頂いたので、実行委員で検討していきたいと思っています。本日はありがとうございました。



対談の様子

\* 2014年9月2日 横浜リハビリテーション専門学校にて

編集：学会広報部 井上・木下

## 理事会 報告

### 平成26年度 第3回 一般社団法人神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成26年9月11日（木）19：00～20：45

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、錠内、中西、澤口、内山、奥原、木村、作田、出口、沼田、福留、三浦、吉本

委任理事：鈴木（孝）、鈴木（久）、野々垣、 出席監事：清宮 委任監事：浅井

その他：三森（webサイト管理委員会：HP班）、金山・本郷・平山（事務局：書記）

#### ●事務局（澤口事務局長）

##### 1) 渉外関連

- ①医専連第124回理事会（9/3：OT士会事務所）  
出席：渡邊会長・錠内副会長・澤口事務局長  
議題：「市民公開講座」（10/19：ワールドポーターズ）  
介助犬ってどんな犬？（協力：日本介助犬協会）  
「ハローよこはま：中区民祭り」（10/12：中区大通り）  
広報部にてブース出展
- ②第33回 神奈川県病院学会（10/27）について  
運営委員：福留理事、大塚氏  
医専連として：中西副会長、佐々木氏
- ③神奈川県医療社会事業協会60周年記念式典・祝賀会（9/6）  
出席：澤口事務局長
- ④神奈川県病院医療関係団体連絡協議会（10/9）  
出席：錠内副会長・澤口事務局長  
内容：黒岩知事ら県幹部並びに病院医療関係団体との懇談

##### 2) OT協会関連

- ①第12回OT協会・都道府県士会合同役職者研修会（7/26～27）  
内容：直近の高齢者施策について、協会規約変更に伴う士会との連携について、その他  
・47都道府県委員会（仮称）について報告があった。  
（意見）今までの連絡協議会と何が違うのかわからない。  
支部を作用としたら予算が必要となる。予算の出所はどこなのか。⇒情報収集していく。
- ②介護予防市町村支援事業実施に関する研修会（3団体共催）  
日時：8/9  
場所：TKPガーデンシティ永田町バンケットホール1C  
内容：これからの介護予防～リハ専門職への期待  
講師：厚労省老健局老人保健課 課長補佐 鶴田真也  
（意見）市町村介護予防事業の目的の中に「リハビリテーション専門職等を積極的に活用し、要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指す」ことが明記された。当会でも研修会等の内容に反映させることが肝要。

##### ③災害対策班より

今回、県PT士会主催で下記の日程で他職種参加の災害対策研修会が行われる予定。当会より事務局から2名参加予定。（澤口・大郷）。今後の当会における在り方を検証中。

日時：10/13（月・祝） 9時30分～13時

場所：ワールドポーターズ6階 イベントホール

##### 3) 協賛・後援名義使用依頼⇒全て承認

- ①「かなりはリハ工学福祉機器フェスティバル2014」（主催：神奈川県総合リハ事業団）（10/25）10時～16時  
場所：神奈川県リハビリテーション病院リハ工学科内及びPT訓練室、体育館、体育館前・地下駐車場  
内容：福祉・移動機器、生活支援ロボット等の展示・展示体験、リハ工学研究室のオープンラボ、障害者の生活や遊びなど情報交換ができる場の設置車いすのメンテナンスコーナーの設置
- ②第4回神奈川県在宅医療推進フォーラム（主催：全国在宅療養支援診療所連絡会）（11/16）10時～16時  
場所：横浜市神奈川公会堂  
内容：在宅医療推進のためのシンポジウム、リハ相談窓口の設置

##### 4) その他

- ①学生会員の創設について  
WFOTにはあった学生会員。当会においても創設してはどうか。準会員としてのメリットもあるが、名簿管理など課題。⇒継続審議。新入会員増の検証も合わせる必要がある。
- ②当会の公益化について ⇒ 規約委員会より次回審議。

#### ●学術部（福留理事）

##### 1) 生涯教育講座について

県保健福祉局保健医療部より、本事業を「地域リハビリテーションに携わる作業療法士の育成を図るための事業にしていきたい」と連絡があった。今年度の生涯教育講座枠で検討した研修会が地域リハ関連に属していたことと、実習指導者講習を進めていたことを伝え、今年度は学術部の事業計画通りで実施し、次年度は県の要請を再度確認し、事業計画を練っていくこととなった。

##### 2) 研究助成事業

4課題の応募あり。本事業を開始してから最大の応募数。書類審査、合議審査を行ったが全課題問題なし。予算が2課題しかなく、やむなく、今回の選考は臨時に「若手育成と今後若手の応募を推進したい」旨基準を設け、2課題に絞った。

##### 3) 部員の承認 ⇒ 承認

井上那築（済生会神奈川県病院）

#### ●教育部（奥原理事）

・生活行為向上マネジメントを現職者選択研修内で扱ってはどうか。

（見解）昨年現職者選択研修シラバスの改定があり、身障・精神・発達・老年期の4領域の内、老年期領域では1コマ入ってきたが他領域ではまだ入っておらず、現職者共通研修でもテーマとして入っていない。

⇒地域リハ部と連携しつつ、協会の動きも収集しながら進めていくこととする。生活行為向上マネジメントの講習会の終了証発行や段階付けが不明であることも考慮して、今のところ別々で行っていくこととしたい。

#### ●広報部（出口理事）

##### 1) 一般県民を対象とした企画について

##### ①NHK「骨を知る」フォーラムへのブース出展

日時：7/21 場所：横浜そごう9階都市ホール

内容：骨粗鬆症に対する訪問リハ紹介：シンポジスト 佐藤氏（さがみりハビリテーション病院）、ブース設置しパンフや広報促進グッズ配布

⇒9/13（土）14時～15時 TV（ETV）にて全国放送

⇒OT協会へ連絡。HPでも周知。

#### ●福利部（吉本理事）

##### 1) 求人掲載依頼：延べ61件

東日本大震災被災地訪問リハステーション求人掲載依頼も対応した。

##### 2) 新入会員オリエンテーション&歓迎会（10/11）

歓迎会10名参加予定、懇親会9名参加予定

##### 3) 職場見学会

第1回職場見学会（身体障害領域編）

場所：金沢病院（10/28 14時～16時）

⇒県士会ニュースとHPで募集していく。

##### 4) 今年の特別表彰候補（OT協会）の推薦に関して

今回のOT協会が制定した基準にはあてはまる該当者がいなかった場合、本年度は神奈川県士会からは推薦者なし。

#### ●地域リハビリテーション部（木村理事）

##### 1) 神奈川県訪問リハビリテーション協議会

・県高齢社会課から地域ケア会議（平塚保健福祉事務所）の出席者の推薦依頼あり。⇒神奈川県訪問リハ協議会から、ふれあい平塚病院のPTの方を推薦した。

・神奈川県地域包括ケア会議（年2回）のオブザーバー出席要請あり。

##### 2) 神奈川県介護予防従事者研修

・県よりPT士会が委託を受ける予定で基本的にPT士会が動くが研修会などで運営・講師をOT士会も依頼されていくかもしれない。本年度で600名に受講予定。

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会Webへ（文責：澤口）

## 【研修会報告】神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会2014

神奈川県理学療法士会および言語聴覚士会と共にH22年度より開始した「神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会」も今年で5回目となりました。当研修会はほぼ全国の都道府県で開催されており、訪問リハの質を担保する目的で毎年3協会から指定される科目を含め10時間以上の研修時間が設定されています。

今年度からは3士会が構成団体となり4月に設立された「神奈川県訪問リハビリテーション協議会」が主体となり当研修会を開催しております。

年々受講者数が減少傾向でありましたが、研修科目を変更し、より実践的な内容にすることで今年度はPOS併せて108名のご参加をいただきました。

訪問リハビリテーション従事者は増加しておりますので、神奈川県内の質を高める取り組みを今後も継続的に実施していきたいと考えております。



2014年8月30日(土)～31日(日)  
於：横浜リハビリテーション専門学校

## 【研修会報告】第4回多職種精神保健福祉セミナー (OT・PSW合同研修会)

OT・PSW合同研修会が今年度より名称を変更して開催されました。名称変更の理由はOTとPSWだけではなく、他の関連職種と一緒に精神障害者の退院支援・地域生活支援を考えていきたいという双方の想いが一致したためです。

結果、OT18名、PSW25名(内学生1名)、NS4名の参加をいただいております。

今年度は、精神保健福祉法の改正から半年近くが経過して各事業所でどのように変化したかをシンポジウムとグループワークで共有いたしました。

参加者からは「連携のあり方について改めて考え直すきっかけになった」という感想をいただいております。関連職種の連携により精神障害者の退院支援、地域生活支援が一層充実することを願っております。



2014年9月20日(土) 於：ウィリング上大岡

(文責：地域リハビリテーション部 木村)

# 各部からの報告

## ウェブサイト管理委員会

### ○新着情報の確認方法

メールマガジン：http://kana-ot.jp/update/from\_kana  
Twitter：http://twitter.com/kaotwebkan  
Facebook：http://www.facebook.com/kaotwebkan

よこ太：県士会サイトの更新の確認って、ハマ子はどうやっているの？  
ハマ子：あたしはFacebookで確認しているよ。  
よこ太：あっ！僕の友達申請は…？  
ハマ子：いやよ。  
よこ太：でも、なんでFacebook？  
ハマ子：とても便利よ。新着情報だけでなく、ネットでのリハ関連の記事も流れてくるしね。  
よこ太：友達いないからFacebookやめちゃった…  
ハマ子：新着情報、Twitterでもわかるよ。  
よこ太：フォローしまくっていたら、タイムラインが洪水状態になっちゃって…県士会サイトの情報も埋もれちゃってさ。  
ハマ子：じゃあ、メールマガジン「kanaからの手紙」が良いんじゃない？

よこ太：パソコンもめったに起動しないもん。  
ハマ子：だから、携帯のメールを登録するのよ。で、気になった更新があったらパソコンを動かせば？  
よこ太：パソコン…XPのままだし…  
ハマ子：スマホならスマホでもOKだよ。皆さん、メールマガジン、Twitter、Facebookのどれかを利用することで、県士会サイトの更新をアクセスしなくても確認できます。どうぞご利用ください！  
(文責：ウェブサイト管理委員会)

### 平成26年9月 アクセスランキング

1位 作業療法Tips & PDF 22924件  
2位 講習会・研修会 22619件  
3位 必見！OTのすぐ技・アイデア集 14409件  
4位 求人情報掲載板 12020件  
5位 月刊よっしーワールド 5080件

### 平成26年9月 県士会ブログランキング

1位 更新履歴of KAOT website 431件  
2位 ウェブ管的知恵袋 350件  
3位 夜にOTの花が咲く 174件

更新件数：76件 訪問者延べ数：20502人  
Kanaからの手紙発行回数：21回 登録者：183名  
Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロワー263名

## 教育部

### ○連載!

県士会ウェブサイトから質問ができます!

### 「お届け!生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け!生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しずつお伝えしています。

#### I. 今後の生涯教育制度関連の研修会

1. 現職者選択研修：生涯教育制度の必須基礎研修です。4領域(身障・精神・老年期・発達)から2領域選択受講します。一領域90分×4コマの受講が必要です。また「この先生の話が聴きたい!」というコマ単位での受講も可能です。今年度は、「老年期領域」、「身体障害領域」を開催します。詳細は今号チラシ、県士会ウェブサイトをご覧ください。

- ・老年期領域 2015年1月12日(月) ウイリング横浜
- ・身体障害領域 2015年3月8日(日) ウイリング横浜

2. 現職者共通研修「事例検討」と「事例報告」：2015年2月22日(日) ウイリング横浜

前号ニュースでご案内しました。県士会ウェブサイトにも掲載しています。

ぜひお申し込みと事例報告へのチャレンジを!

3. 11月24日の事例報告登録制度に関する研修会、現職者共通研修(「保健・医療・福祉と地域支援」、「日本と世界の作業療法の動向」)も申し込み受付中です(チラシ、ウェブサイトを参照ください)。

#### II. 生涯教育受講履歴登録システムに関して

今年度より現職者共通研修、現職者選択研修の生涯教育受講履歴が協会ホームページの会員システム内に登録開始予定です。そのため研修会申込時の正しい協会会員番号の明記と研修会参加時の協会会員証の持参をお願いします。異なる場合には登録できない場合もあります。

生涯教育制度に関して何でもご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

教育部 奥原孝幸(昭和大学)

045-985-6500 (代)、kyoiku@kana-ot.jp

## 地域リハビリテーション部

### 《研修会開催予定》

「ALSコミュニケーション支援講習会」3/1  
於：横浜リハビリテーション専門学校

※今年度より訪問リハビリテーションに関する研修会等は全て神奈川県訪問リハビリテーション協議会が企画・運営いたします。開催情報は別途会員の皆様に周知いたします。

### 《生活行為向上マネジメントの普及活動について》

「生活行為向上マネジメント」を普及するため、各施設・事業所にて説明会を実施いたします。ご希望される場合は詳細をお知らせいたしますので、必要事項を記入のうえ、下記宛にEmailにてご連絡ください。

(現在実施施設は5施設です)

宛先：chiikireha@kana-ot.jp

地域リハビリテーション部 木村宛

件名：「生活行為向上マネジメント説明会希望」

内容：1) 所属施設名 5) 連絡先TEL  
2) 所属施設住所 6) 連絡先Email  
3) OT部門代表者 7) 所属OTの人数  
4) 窓口担当者 8) 希望日時(複数指定)

### 《地域ケア会議に出席された会員の方へ》

地域包括ケアシステム構築に向けて各市町村の動きが徐々に始まっております。その一つに地域ケア会議がありますが、既に地域ケア会議に出席経験のある会員がいらっしゃるいましたら、地域リハビリテーション部(chiikireha@kana-ot.jp)にご連絡をいただけますと幸甚に存じます。これは情報収集を目的としたもので、今後の県士会活動に反映したいと考えております。ご協力よろしくお願いたします。

(文責：地域リハビリテーション部 木村)

## 広報部

### ①NHK主催「フォーラム骨を知る～歩くことから生きる～」に出演

(平成26年7月21日 横浜そごう新都市ホールにて)  
 上記内容がテレビに！「最初の骨折を最後に～骨粗鬆症の最新事情」が放映  
 (平成26年9月13日 Eテレにて放送)  
 この度神奈川県作業療法士会では、NHK主催の企画に参加させていただきました！



NHK 担当者と打ち合わせの様子

本フォーラムは4月に盛岡でも開催されており、岩手県作業療法士会 菅原章氏がパネリストとしてご参加されました。その後、神奈川での開催には菅原氏より推薦頂き、さがみりハビリテーション病院 佐藤隼氏が神奈川県のパネリストとして参加いたしました。

当日は900名以上の一般参加があり、研究機関や在宅の専門医による取り組みの紹介を第1部とし、第2部では骨粗鬆症者への訪問りハビリテーションによる取り組みを紹介させていただきました。

またシンポジウム会場では神奈川県作業療法士会福祉用具委員会と広報部共同でブースを設け、一般参加者に対する作業療法啓発の貴重な機会となりました(^^)



フォーラム当日



県士会ブース

NHKさんでは健康関連の企画がここ数年で増えている様です。今回の貴重な機会を契機に、作業療法啓発活動がメディアでも盛んになるよう、広報部でも頑張りたいと思います！

文責：佐藤・酒井

### ②ハローヨコハマ (平成26年10月12日 横浜スタジアム)

10月12日、横浜市内で開催された第39回中区民祭り「ハローよこはま2014」にブース出展致しました。当日は東日本大震災の復興支援や東アジアの伝統文化の紹介など様々企画が出展され盛況な催しとなりました。

当士会では作業療法パンフレットの配布や高次脳機能検査の模擬体験コーナーを設置し、多くの方に作業療法を紹介させていただきました。

模擬体験では高次脳機能検査でTMTをアレンジしたものを使用したところ、ご自身の能力を試したいと多くの方が挑戦してくださいました。また、身体のことでの不安を感じている方や介護経験がある方からリハビリに関する質問や自らの体験談を寄せていただきました。全体を通して有意義な出展になりました。

今後も作業療法を広く知っていただけるよう広報活動を続けていきたいと思ひます。

文責：久保田



会場は横浜スタジアムでした



県士会ブース「認知機能検査体験」の様子

### 部員募集 !!

広報部対外広報班では一般県民・関連職種・学生に向けた様々な対外広報活動を検討・実施しています。ご興味ある方、一緒に活動してみませんか？お待ちしております(^^)

## 福利部

### ○新入会員オリエンテーション&歓迎会

恒例となりました新入会員オリエンテーション&歓迎会を10月11日16:30~18:00にて、横浜リハビリテーション専門学校 地下談話室にて開催しました。新入会員42名の方にご参加頂きました。また、理事は錠内副会長、澤口事務局長、清宮監事、奥原理事、福留理事、内山理事、沼田理事の方々に参加して頂きました。例年よりも多くの方にご参加頂き、盛況に開催いたしました。



歓迎会の様子

初めに錠内副会長より開会の挨拶をして頂いた後、飲み物・お菓子等を準備し、立食形式でご歓談頂きました。理事や役員、会員の皆様が交流し、情報交換や親睦を深めていました。

また、企画として当部員より各理事の紹介をpower pointにて行いました。理事の紹介では当日いらっしゃっている先生方より一言頂きながら進行し、笑いに包まれながらアットホームに進行する事ができ参加者・理事からも好評でした。



県士会活動の紹介

今回は新企画として、新入会員の皆様に神奈川県作業療法士会知って頂く目的として、県士会のあゆみや、神奈川県作業療法士会 認定Special Interest Group (SIG) 団体一覧を紹介させて頂きました。紹介は、ポスターや配布資料、PPでのスライドショー等も利用しました。



閉会の挨拶 (清宮先生)

閉会の挨拶は清宮監事より頂きました(若い世代のOTへの熱いメッセージをありがとうございました!)

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。これからも神奈川県作業療法士会を盛り上げていきましょう!

来年も同企画を開催しますので、新入会員に有益な企画となるように努力したいと思います。

福利部 一同

## 研 修 会 案 内

### 📌 第13回作業療法地域連携会@sagamihara研修会

主催：作業療法地域連携会@sagamihara

日時：2014年12月5日(金) 19:00~21:00 (受付18:30~)

場所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2 (bono相模大野サウスモール3階)

特別講演 『脳卒中ガイドラインと臨床応用』 他

詳細URL：<http://otsagamihara.web.fc2.com/>

### 📌 初心者のための実習指導 ~臨床教育方法からレポート指導方法の基礎~

主催：一般社団法人 神奈川県作業療法士会 学術部

日時：2014年12月27日(土)13:00受付開始 13:30~16:45

場所：ウィリング横浜 12階 研修室

申込み締切：2014年11月30日

HP：<http://kana-ot.jp/wpm/lecture/>

### 📌 精神科臨床場面で生かせる評価法講座~事例検討を通して~

主催：神奈川県臨床精神科作業療法研究会 (かなりけん)

日時：平成26年12月13日(土)13:30~17:00

場所：ウィリング横浜10階

詳細URL：<http://kana-ot.jp/wpm/lecture/>

### 📌 第4回：生活習慣系の症状に関する身体機能アプローチ (基礎編)

主催：健康生活リハビリ研究会

日時：2014年11月30日(日)

場所：茅ヶ崎市勤労市民会館 (3階B研修室)

詳細URL：<http://ameblo.jp/kenko-seikatu-reha>

### 📌 北里作業療法学会 第15回学術集会

主催：北里作業療法学会

日時：2014年11月29日14:50~17:30

場所：北里大学医療衛生学部A3号館33番講義室

内容：「分野を超えた作業療法」

詳細URL：<http://kana-ot.jp/wpm/lecture/>

### 📌 第41回日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG講習会 in 別府

日程：2015年1月24日(土)~25日(日)

主催：日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG

会場：社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター

申込み締切：2014年12月22日(月)

詳細URL：<http://www.wheelchair-sig.jp>



求人

## ◎作業療法士募集◎

- ◎一人の患者様に長く関わられます（入院⇒在宅まで）
- ◎入院、外来、訪問、デイと幅広く活躍できます
- ◎患者様に寄り添える療法士を探しています

募集人数：OT3名、PT3名、ST2名

施設概要：一般60床、療養120床

内科、リハ科、小児科

脳血管 I・運動器 I・呼吸器 I

PT15名、OT10名、ST5名

業務内容：入院、外来（希望者は訪問・デイ兼務）

給与：当法人規定による 休日：4週8休

勤務時間：8：45～17：15（休憩60分）

応募方法：電話・メールでお問合せ下さい。

医療法人社団 三医会 鶴川記念病院

〒195-0054 東京都町田市三輪町 1059 番地 1

TEL：044-987-1311（代） FAX：044-987-7981

担当：リハビリ科 遠藤 総務課 菊池

Eメール：riha@tsurukawakinen.or.jp



求人

## ■作業療法士募集■

- ◆平成26年冬にオープンのリハビリテーション病院です（鶴川記念病院に隣接）
- ◆回復期・療養病棟の両方で手厚いリハビリを行える病院を目指します

募集人数：OT5名、PT5名、ST3名

施設概要：療養120床。開院後に回復期を準備。

脳血管 I・運動器 I・呼吸器 I（予定）

業務内容：入院患者へのリハビリテーション

給与：当法人規定による 休日：4週8休

勤務時間：8：45～17：15（休憩60分）

応募方法：電話・メールでお問合せ下さい。

（新設）医療法人社団 三医会

鶴川リハビリテーション病院

〒195-0054 東京都町田市三輪町 1059 番地 1

TEL：044-987-1311（鶴川記念病院）

担当：リハビリ科 遠藤 総務課 菊池

Eメール：riha@tsurukawakinen.or.jp



求人

## 作業療法士（訪問リハビリ）募集！

訪問リハビリ未経験者も安心！土日祝日休み（年間休日120日）の働きやすい環境が魅力です！

けいすい訪問看護ステーションは、訪問リハビリ未経験から始めたスタッフが多数活躍しています。医療法人ならではの手厚い教育体制があるので、訪問未経験者も安心。丁寧な事前の研修や、同行訪問などでバックアップしています。

風通しの良い雰囲気があり、わからないことはすぐに相談できる環境です。ステーションには4名のOTと10名以上の看護師が（逗子はOT1名、PT4名、ST1名、看護師5名以上）在籍しています。当ステーションのもうひとつの魅力は、土日祝日休みで休日がしっかり取れる点。年間休日120日、オンコールなしでワークライフバランスもバッチリです。まずは見学のみも受付けています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

仕事内容：訪問リハビリ業務

募集人員：作業療法士2名（正職員）※入職日は、即日～平成27年4月で応相談

勤務地：次の2拠点から選択

① けいすい訪問看護ステーションふるさと（神奈川県横浜市金沢区柴町391-10）

※シーサイドライン海の公園柴口駅より徒歩1分（訪問先は横浜市金沢区内が中心）

② けいすい訪問看護ステーション逗子（神奈川県逗子市逗子4-1-22）

※JR逗子駅または京急線新逗子駅より徒歩3分（訪問先は逗子市、鎌倉市が中心）

待遇：当法人規定により優遇（経験年数加算あり、昇給年1回、賞与年2回）

福利厚生：社保完備、交通費全額支給、退職金（勤続3年以上）、職員旅行、研修補助、制服貸与等

勤務時間：8：30～17：30（休憩1時間）

休日休暇：土曜、日曜、祝日（年間休日120日）、有給休暇（初年度13日）、夏季休暇、年末年始休暇、その他特別休暇

応募方法：まずは下記までお気軽にご連絡ください

医療法人社団景翠会（金沢病院グループ）

TEL 045-780-5210（担当：人事課・鈴木）

E-Mail saiyou\_hospital@keisuikai.jp URL <http://www.keisuikai.or.jp/>



求人

## オープニングスタッフ募集（リハビリ特化デイ・訪問リハ）

はじめまして。セントケア神奈川株式会社です！

12月OPENリハビリ特化型デイサービス・ショートステイ「Re-has（リハス）永田台」オープニングスタッフ募集中です。訪問リハビリスタッフも県内全域で募集しています！

事業内容	訪問看護・リハビリ 訪問介護 訪問入浴 デイサービス 福祉用具 ショートステイ 等 ☆☆☆在宅介護を中心に神奈川県内に70事業所を展開しています☆☆☆
募集人員	正社員 契約社員（非常勤）
待遇	当社規定による。正社員は賞与年2回・退職金制度あり
福利厚生	社会保険完備 交通費全額支給 各種研修制度 制服貸与 財形貯蓄 有給休暇 育児休暇 介護休暇 育児短時間労働制度 社員持株会制度 慶弔見舞金 健康相談 等
勤務時間	9：00～18：00（非常勤は応相談）
休日	月8日～10日 ※非常勤の方は勤務希望に応じます。
勤務地	～リハビリ特化型デイサービス・ショートステイ～ ○セントケアRe-has永田台（12月OPEN） 横浜市南区永田台1-24（京浜急行線 井土ヶ谷駅よりバス「永田町」バス停 徒歩1分） ～訪問看護・リハビリステーション～ ○川崎宮前（宮崎台駅 徒歩12分） ○中原（南武線 武蔵新城駅 徒歩8分） ○あさお（小田急線 百合丘駅 徒歩4分）○横須賀（京浜急行線 汐入駅 徒歩1分） ○大和（田園都市線 つきみ野駅 徒歩15分）○横浜（京浜急行線 井土ヶ谷駅 徒歩3分） ○座間（小田急線 相武台前駅 徒歩5分）

### セントケア神奈川株式会社

本社：〒231-0011 横浜市中区太田町4-55 横浜馬車道ビル7階 採用担当：碓井・塚本

電話：0120-952-249 FAX045-227-8873 HP <http://www.saintc-k.com> メール [saiyo-k@saint-care.com](mailto:saiyo-k@saint-care.com)



求人

## 作業療法士 募集

児童精神科、精神科の診療所です。  
川崎市北部で発達障害、児童思春期の相談を主に受けています。

18歳以上の方と、18歳未満の方のデイケアを分けて運営していますが、そのどちらにも作業療法士さんの力を必要としています。  
小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩3分。

募集人員：1名

就労期間：急募

応募資格：作業療法士免許を有する方

待遇：非常勤、原則 火曜日、木曜日、金曜日／週の勤務

月に一回は土曜日勤務あり

給与：規定により、時給1700円～ 経験能力により優遇

勤務時間：9：00～18：00（育児中等応相談）

応募方法：メール連絡の上、履歴書、職務経歴書を下記に送付して頂き、追って面接日のご連絡をします。

### しんゆりメンタルヘルスクリニック

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-3-4WAKAビル

E-mail: [5380@shinyuri-mental.com](mailto:5380@shinyuri-mental.com)

URL:<http://www.shinyuri-mental.com>



求人

## 作業療法士随時募集中

「あなたの生き方に寄り添う看護を！」を理念にしています。

訪問リハビリ体制拡充につき、横浜市内4ステーションでスタッフ同時募集！

募集人員：常勤 若干名 非常勤 若干名

待遇：当法人規定による

昇給年1回、賞与年2回、社会保険完備、

マイカー通勤可、交通費支給、制服貸与

勤務時間：常勤 月～金 9：00～17：30

非常勤 月～金 ①9：00～16：25

②9：00～13：00

③13：00～17：00

休日：土・日・祝日・年末年始・夏期休暇

勤務地：戸塚区南舞岡・旭区市沢・港南区野庭

泉区弥生台

応募方法：電話連絡の上、履歴書郵送願います。

医療法人敬生会

ともしろー訪問看護ステーション 本部

〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡1-23-9

TEL045-823-1976 FAX045-828-1030

E-mail: [oubo@keiseikai-med.jp](mailto:oubo@keiseikai-med.jp)（採用担当）

URL <http://www.keiseikai-med.jp/>



求人

## 作業療法士 募集

募集人員：若干名  
 就労期間：即日～平成27年3月31日  
 応募資格：作業療法士免許を有する方  
 待遇：非常勤職員としての雇用です  
 給与：本市規定による 1864円/時給  
 手当：交通費相当分支給  
 勤務時間：月～金 8:30～17:15まで  
 ※頻度・時間等は相談に応じます  
 休日：4週8休制  
 応募方法：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、  
 免許証の写しをご持参ください。  
 ※ まずはお気軽にお問い合わせ下さい

問い合わせ先

### 横浜市立脳血管医療センター

〒 235 - 0012 横浜市磯子区滝頭 1 - 2 - 1

TEL 045-753-2500 (代表)

FAX 045-753-2905

リハビリテーション部 遠藤まで

Eメール：by-no-somu@city.yokohama.jp

http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/



求人

## 作業療法士 急募

診療科目：精神科・心療内科  
 住所：〒252-0335  
 神奈川県相模原市南区下溝4378番地  
 小田急線相武台前駅から送迎バスあり  
 JR相模線下溝駅から徒歩10分  
 電話番号：042-778-0200  
 募集人員：若干名 常勤  
 待遇：当院規定により  
 昇給年1回。賞与年2回（昨年度実績）  
 交通費全額支給、退職金規程有、  
 社会保険完備  
 給与：244,000～268,000円  
 （諸手当含む。家族手当等当院規程に  
 よりあり。）  
 勤務時間：9：00～17：00  
 （部署により12：00～20：00勤務もあり）  
 休日：4週7休、有給休暇、夏休み、年末年始、  
 特別休暇等  
 応募方法：随時電話連絡の上、履歴書（写貼）持  
 参又は郵送下さい。

### 医療法人社団 博奉会 相模ヶ丘病院

問い合わせ先 採用係

ホームページもご覧下さい

URL http://www.hakuhou-kai.or.jp



第15回神奈川県作業療法学会では”おもしろdevice・activityコンテスト”を開催します。みなさんのアイデア、ぜひご応募ください。詳しくは県学会ホームページへをご覧ください。

お問い合わせは oubo.contest@gmail.com 機器展示班まで（^^）

## 事務局からのお知らせ

来年度より産休・育児休暇等により休会の取得を希望する会員の方は、平成26年12月31日までに必要書類を揃えて申請する必要があります。

詳細につきましては県士会webサイトをご覧ください。

## WFOTの裏側で・・・ 座長記念品と作業所OTの紹介

去る6月に開催したWFOTにて、準備した製作物は「学会誌」だけではありません。

コングレスバックや運営にご協力くださった座長さんへの記念品などもありました。

そしてこのような製作物の依頼にあたり、WFOT組織委員会では「ぜひ障がい者の方が製作した作品を！」と、福島・東京・神奈川の作業所さんへお声をかけて頂きました。

ここでは、座長記念品の製作でご協力いただいた作業所さんと、そこで活躍するOTを紹介いたします。

### 《若年性認知症社会支援センター ジョイント》

ジョイントさんは、若年性認知症者の社会参加をお手伝いする作業所として都内のマンションに場所をかまえています。

今回の記念品では、「WFOT2014」の刻印入りの革製ストラップとペンケースのセットを作製して頂きました。なんと、開催せまる3か月まえの出来事です。

といっても、1つの作業所さんで2百を超える発注作品をたった2か月で作製（刻印）するのは至難の業です。とくに「WFOT2014」を刻印すると8文字……。この作業の課題（難題）には、OT比留間所長の発想から生まれた自助具が光りました。

### 《作業活動とOT 比留間ちづ子所長》

若年性認知症者の就労型活動の支援として、「ジョイント」さんは安心して作業ができるように「1動作」の原則を貫いているそうです。作業工程を整理し、わかりやすくすることで「1つできた」という成功体験の積み重ねをしていくことが大切だそうです。

その中でこの「WFOT2014」の刻印や作製では、ひとつの工程として簡略化できるよう、ボードをくりぬき、刻印をならべ、テーピングでとめて大きな1つの刻印にしました。「そこにある材料で、簡単に」・・・OTならではの発想に支えられた作製だったのです（^^）

若年性認知症者の場合、脳血管性・アルツハイマー病等、病気の特性や個人特性により症状や残存能力が異なり、そして確実に進行変化します。病気によってアイデンティティ（自分自身である感覚実体）が薄れていく不安に対して、OT比留間所長は作業活動を通して自己確信の援助に向き合っていました。

### 《WFOTの裏側で・・・》

日本で開催されるWFOTの貴重な学会製作物として「ジョイント」さんとご一緒する機会となりました。開催地神奈川ともつながりができたことは、とても意味ある機会だったと感じます。また大先輩であるOT比留間所長の地域で活躍する様子を知るきっかけになったことはとてもうれしく思いました。



OT 比留間所長考案の刻印の工夫



比留間所長と作品の数々



「ジョイント」取材にて

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニューズ** <170号>2014年11月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

山岡光 / 岩瀬このみ / 桜井大和（佐藤病院）

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jimuk@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>



kana-ot.jp